

きら☆サポ通信

発行：富士見丘小学校学校支援本部

平成 28 年 6 月 3 日 No.1

「きら☆サポ」とは、「きらきらひかる子供たち」を支える「きらきらひかるサポーター」という意味を込めた富士見丘小学校 学校支援本部の愛称です。

【4月・5月の学校支援本部活動を紹介します】



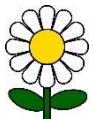
新年度最初の活動は「基礎基本タイム」プリント丸付け

1年生が3クラスとなり、全13クラスとなりました。富士見丘小学校では、毎週火曜日の朝に基礎基本タイムを設けています。算数の基礎学力の定着を目的に全学年が一斉に取り組んでいます。学校支援本部では、各学年の立てた計画に沿って、使用するプリントの印刷から回収、丸付け、返却までを全面的に支援しています。丸付けを教員以外の人が行うことにご心配がありますか？プリントには児童の名前ではなく出席番号が書かれていますし、丸付けを担当するボランティアには守秘義務がありますから、お子様の個人情報が外部に漏れる心配はありません。ご安心ください。



1年生保護者会で託児をしました

4月21日（木）低学年保護者会に対応して、1年生の預かりを行いました。児童一人での留守番になってしまふ場合や、通学時間が長く保護者会開始時刻までに児童が帰宅できないなどの場合に、保護者が安心して保護者会に出席できるよう、数年前から始まった取組です。40名の希望がありました。支援本部のボランティア10名が、教室まで迎えに行き、受付を済ませた後、図書室、閲覧室、閲覧室前の廊下で、読書、折り紙、粘土などをする児童を見守りました。



「花マル先生」も活動スタート

富士見丘小学校に学校支援本部が設立されたときから続いている活動が、「花マル先生」です。特別支援教育の一環として開設しているスタディルームでは、基本の学習をより確実に習得させるとともに、児童一人一人が「できた！」「わかった！」「勉強って楽しい！」と感じ、学習意欲をより高めることをねらいとしています。毎週金曜日の5時間目、1年生の各クラスに、学校支援本部のボランティアが3名ずつ入り協力しています。今年度、新たに3名がボランティアとして登録してくれました。6月からは、2年生のスタディルームでも活動します。



5年生が浴風会で写生会をしました

好天に恵まれた5月31日（火）、図工の時間に写生会を行いました。支援本部からは7人が同行し、児童が安全に活動できるようサポートしました。浴風会からもたくさんの職員が協力し、見守ってくださいました。これは昨年度から打ち合わせを重ねて準備してきた活動です。歴史を感じさせる本部建物、池、豊かな木々と見事なバラ…。児童はそれぞれ気に入ったスケッチポイントを探して絵を描きました。熱心に筆を運ぶ児童に、園内を散歩する高齢者の方が嬉しそうに話しかけられる光景もあちこちで見られました。学校のすぐ近くで、すてきな体験をすることができました。

【4月・5月の花マル先生活動日】 4回

【4月・5月の基礎基本タイム丸付け】 7回

【学校支援本部】 メールは→fujimishoushien@bz03.plala.or.jp

電話・FAXは→03-5941-8967

「きら☆サポ通信」は富士見丘小学校学校支援本部の活動をお伝えします。